

① 快適な都市空間の形成

～よりよい都市空間をめざして～

平成22年度の主な取組状況

●土地区画整理の促進

都市計画区域内の土地について公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図り、市街地の良好な環境を整備するため、土地区画整理事業を促進しています。22年度は、大分駅南地区ほか2箇所で行いました。



【大分駅南地区(大分市)】



【中津駅北地区(中津市)】

●都市公園整備の推進

緑とオープンスペースが果たす環境緩和や景観形成、防災、レクリエーション等の多様な機能により、安全で快適な緑豊かな都市環境を形成するため、都市公園整備を推進しています。

22年度は、大分スポーツ公園にて、21年度に着手した大分銀行ドームの張替用芝生の育成圃場を整備しました。



【広大な緑地を保全する大分スポーツ公園】



【張替用芝生の育成圃場建設地】

目標指標の達成状況

		10年前	H16年度 (計画時)	H22年度	H23年度	H27年度 (目標値)
都市内の街路整備(km)	目標値a	-	-	571	577	600
	実績値b	413	535	586	-	-
	達成率b/a	-	-	102.6%	-	-
土地区画整理施工面積 (ha)	目標値a	-	-	2,686	2,722	2,863
	実績値b	1,725	2,475	2,800	-	-
	達成率b/a	-	-	104.2%	-	-
一人あたり都市公園等 面積(m ² /人)	目標値a	-	-	12.0	12.7	13.0
	実績値b	8.7	10.8	12.7	-	-
	達成率b/a	-	-	105.8%	-	-

業績評価

都市内の街路整備	達成	計画的に街路整備を推進し、目標を達成しました。
土地区画整理施工面積	達成	計画的に土地区画整理事業を促進し、目標を達成しました。
一人当たり都市公園等面積	達成	市町事業の公園や、都市緑地・緑道及び県整備の広域公園等、計画的な整備により、目標を達成しました。

② 生活排水対策の推進

～子どもたちが遊べるきれいな川や海をめざして～

平成22年度の主な取組状況

●下水道県過疎代行事業の推進

生活排水処理施設の整備は市町村の責務ですが、一部の過疎町村では、十分な財政力・技術力を確保することが困難な場合があるため、県がこれらの町村に代わって下水道の終末処理場、幹線管渠等の建設を行っています。

22年度は中津市(山国町)において事業を実施し、23年4月に山国浄化センターが供用開始されました。

【事業効果】

供用開始により、快適で衛生的な生活環境の確保と公共水域(山国川)の水質の保全が図られます。

終末処理場の能力 670m³/日
(面積 56ha、1,460名分の生活排水の処理が可能)



【山国浄化センター】

●生活排水対策の啓発活動

大分の恵み豊かな自然を守り、次の世代に引継ぐために、毎年9月10日から10月10日までを「生活排水きれい推進月間」として、家庭から出る排水をきれいにすることを呼びかけています。

22年度の主な実施内容	生活排水対策 パートナーシップ推進事業	生活排水は日常生活に起因し排出されることから、家庭における廃食用油の適正な処理等の実践や地域における水環境保全活動への取組みなど、県民一人ひとりが生活排水対策を実践できるよう、NPO法人等の提案を基に、啓発活動を展開しています。 22年度は2団体の提案を採択し、9月～12月に下記の2事業を県内各地で実施しました。
-------------	------------------------	--



小学生が、食器などの汚れを拭き取るウエスを作り、エコイベントで配布



廃食用油利用の石けん作りを通じた啓発

目標指標の達成状況

		10年前	H16年 (計画時)	H22年度	H23年度	H27年度 (目標値)
生活排水の処理率	目標値 a	—	—	67.0%	68.2%	73.1%
	実績値 b	45.3%	58.6%	67.2%	—	—
	達成率 b/a	—	—	100.3%	—	—
生活排水処理施設を利用できる人口		56万人	72万人	80.8万人	—	87万人

業績評価

達成	市町村に対して財政面及び技術面の支援を行い、目標を達成しました。
----	----------------------------------

③ 渋滞・騒音の軽減

～イライラのない交通環境をめざして～

平成22年度の主な取組状況

●渋滞の軽減対策(大分駅付近連続立体交差事業)

大分駅周辺では、大分駅付近連続立体交差事業や庄の原佐野線整備事業を行っており、22年度は、日豊本線高架化に向け鉄道高架橋工事、大道陸橋撤去工事を実施しました。

【工事が進む大分駅周辺総合整備事業】



【大道陸橋撤去工事】



●渋滞の軽減対策(有料道路の無料化)

23年12月1日から大野川大橋有料道路・米良有料道路・大分空港道路の無料化を行いました。これにより、並行する道路での交通量減少及び渋滞緩和が確認され、市内の渋滞緩和に寄与しました。



【無料化前】



【無料化後の写真】



【無料化案内】

目標指標の達成状況

		10年前	H16年度 (計画時)	H22年度	H23年度	H27年度 (目標値)
渋滞対策が必要な箇所数 (箇所)	目標値a	—	—	9	8	5
	実績値b	—	22	8	—	—
	達成率a/b	—	—	112.5%	—	—

業績評価

達成	大分駅周辺の渋滞対策を進めるとともに、有料道路の無料化等により、交通渋滞対策は順調に進捗しています。
----	--

④ 住宅環境の向上 ～すべての人にやさしい安全・安心で快適な住宅をめざして～

平成22年度の主な取組状況

● 県営住宅のバリアフリー化

すべての人にやさしい安全・安心で快適な住宅をめざして、22年度は、大分市の明野住宅において34戸の建替を行ったほか、日田市の城内住宅などにおいて15戸の高齢者向け改善工事を行いました。

高齢者向け改善工事の施工例

○ 県営住宅の1階住戸を、高齢者でも生活しやすいよう高齢者向けに改善工事を実施しています。

浴室の壁に手すりを設置しています。



給湯器を設置し、シャワーが利用できるようにしています。

トイレに手すりを設置しています。



低い位置に非常ボタンをつけています。

○ 敷戸住宅全面的改善工事

入居者の移動を円滑にするため、エレベーターや片側廊下の設置等、全面的な改善工事を行いました。



目標指標の達成状況

		10年前 (平成6年)	H16年度 (計画時)	H22年度	H23年度	H27年度 (目標値)
バリアフリー化された 県営住宅の割合	目標値a	—	—	16.0%	18.0%	22.0%
	実績値b	1.7%	11.2%	17.5%		—
	達成率b/a	—	—	109.3%		—
高齢者対応の 県営住宅の割合	目標値a	—	—	26.6%	27.5%	31.0%
	実績値b	4.9%	21.0%	27.2%		—
	達成率b/a	—	—	102.2%		—

業績評価

達成	21年度に策定した「大分県公営住宅等長寿命化計画」等に基づいて計画的にバリアフリー化、高齢者対応に取り組んだ結果、目標を達成しました。
----	---